

市民公開講座

院長

8月22日(土)・23日(日)に東北大学川内萩ホールと北キャンパスで、第25回日本外来小児科学会年次集会を会長として開催します。開催の準備に追われて新聞を作る時間的余裕もないため、学会のプログラムのひとつの「市民公開講座」の宣伝を兼ね、記事にしてみます。

皆さんもいろいろなところで、“子どもとメディア”について、耳にすることも多いと思います。院長が所属する日本小児科医会では、10年以上前から“子どもとメディア”の問題について警鐘を鳴らし、“これからもメディアは発達し多様化して、メディアとの長時間に及ぶ接触はいまだかつて人類が経験したことのないものとなり、心身の発達過程にある子どもへの影響が懸念されています。”との問題提起とともに、具体的な下記の提言を行ってきました。

1. 2歳までのテレビ・ビデオ視聴は控えましょう。
2. 授乳中、食事時のテレビ・ビデオの視聴は止めましょう。
3. すべてのメディアへ接触する総時間を制限することが重要です。1日2時間までを目安と考えます。テレビゲームは1日30分までを目安と考えます。
4. 子ども部屋にはテレビ・ビデオ、パーソナルコンピュータを置かないようにしましょう。
5. 保護者と子どもでメディアを上手に利用するルールをつくりましょう。

さて、子どもたちへのメディアの弊害に関しては様々なことが言われています。身近なところでは言葉発達の遅れ、注意能力の低下、社会性の欠如、さらには反社会的現象や事件につながるものが懸念されています。

「市民公開講座」では、東北大学加齢医学研究所川島隆太教授に、『メディアが子どもの認知発達に与える影響について』を講演してもらいます。寄せられた講演要旨は、“健康な小児を対象とした3年間の追跡調査の結果、テレビの視聴時間は子ども達の言語性知能の発達、および前頭連合野を中心とした大脳皮質の発達に負の影響があることを明らかにした。また仙台市および宮城県在住の中高生数万人を対象とした調査によって、スマートフォンの使用時間と数学・国語の学力の間に強い負の相関関係があること、それらの負の相

関関係は家庭での学習時間や睡眠時間とは無関係であることを明らかにした。

これらのデータは、メディア被曝が子ども達の認知発達に直接負の影響を与えていることを示唆する。脳活動計測実験では、それらメディア被曝時に、前頭連合野に弱い抑制がかかる傾向が強い。こうした大脳皮質への抑制的な刺激を継続的に受けることが認知機能発達に悪影響を及ぼしているのかもしれない。”です。

ちょっと読んでみると学会に寄せられた要旨なので、何か難しい内容に思えるかもしれませんが、「市民公開講座」である以上、誰にでもわかりやすい講演していただくことになっています。

先日、ご挨拶のため川島先生を訪ねてきました。脳科学から子どもたちを考える先生と子どもたちの健康を守る小児科医という立場で、和気あいあいとした雰囲気の中で話が弾みました。最後に“ひとつだけ聞いてもいいでしょうか...?”と。先生から指摘され、偶然とはいえ共通点があることに気がきました。観察力の素晴らしさに敬服しただけでなく、同じ仲間同士ということで盛上がり笑顔の「むすび丸」ツーショットもゲットできました。この記事では共通点は明かませんが、ひょっとして「市民公開講座」で明らかになるかもしれません。乞うご期待!?, というところです。

・市民公開講座

日時:8月23日(日)15:00~16:00(開場 14:45)

会場:東北大学川内萩ホール

演題:「メディアが子どもの認知発達に与える影響について」加齢医学研究所 川島 隆太教授

対象:一般の方(どなたでも参加できます)

参加費:無料

脳科学で有名な、脳トレという言葉で誰もが知っている川島先生による講演です。

年齢を問わず子どもを持つ親御さん、子どもと関係のある行政担当者、教職員、保育所、幼稚園、学生など全ての方々役に立つご講演だと自負しています。

院長が司会をつとめ、さらには参加料も無料ですので、皆様お誘い合わせの上ご参加ください。



第25回日本外来小児科学会年次集会
市民公開講座

メディアが子どもの認知発達に与える影響について

東北大学加齢医学研究所長
川島 隆太 教授



講演要旨:健康な小児を対象とした3年間の追跡調査の結果、テレビの視聴時間は子ども達の言語性知能の発達、および前頭連合野を中心とした大脳皮質の発達に負の影響があることを明らかにした。また仙台市および宮城県在住の中高生数万人を対象とした調査によって、スマートフォンの使用時間と数学・国語の学力の間に強い負の相関関係があること、それらの負の相関関係は家庭での学習時間や睡眠時間とは無関係であることを明らかにした。これらのデータは、メディア被曝が子ども達の認知発達に直接負の影響を与えていることを示唆する。脳活動計測実験では、それらメディア被曝時に、前頭連合野に弱い抑制がかかる傾向が強い。こうした大脳皮質への抑制的な刺激を継続的に受けることが認知機能発達に悪影響を及ぼしているのかもしれない。”

日時:2015年8月23日(日)
15:00~16:00(開場14:45)

会場:東北大学川内萩ホール


参加費:無料(事前の申し込みは必要ありません)
※入場自由、席が埋まり次第入場終了とさせていただきます。

主催:第25回日本外来小児科学会年次集会
協賛:かわむら

8月のお知らせ

- ・夏期休暇
13日(木)~15日(土)
- ・学会による休診
21日(金)~22日(土)

2週連続の休診となりご迷惑を御掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。



読者の広場

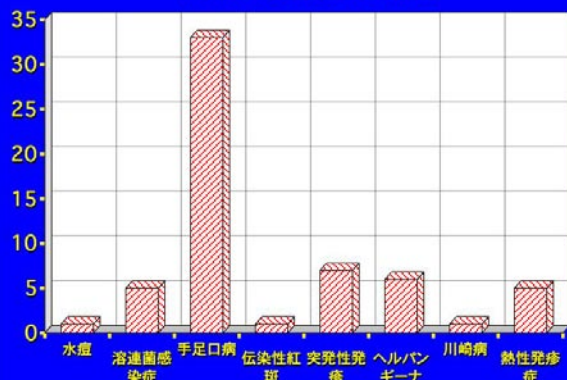
先月は16通のメールをもらい、いろいろと相談事が多い1ヶ月でした。まずは宮城野区の菅井さんからのメール。「いつも、お世話になっております。仕事が忙しく、このような夜分に申し訳ありません。先日は、お世話になりました。相変わらずの保育園、更にパワーアップしてしまい、溶連菌だということで、プールにも入れてもらえません。そして、検査をしてもらって下さいとのこと。必要なんでしょうか？土曜日朝から泊まり勤務です。月曜日休みなので、受診は可能なのですが...症状は、全くなくお陰様でいたって元気すぎる程に元気です。どうしたら良いのでしょうか？先生に会いに行つて～笑。遅れて登園させて、大丈夫でした。つて言ってしまうおうか？なんて、考えておりますバカ母です。お忙しいところ申し訳ありません。お返事お待ちしております。宜しくお願い致します。」このメールだけでは状況が理解できないかもしれません。簡単に言えば、溶連菌感染症で治療をして症状がなくなったのに、検査して陰性でなければプールに入れないというものです。その後受診して医学的な常識を説明して、無知な保育所をギャフンといわせなさいとアドバイスしました。すると返事が、「今日は、お忙しいところ、朝からメールありがとうございました。また、すっかり元気のゆんを連れて、先生に会いにいっちゃつて？笑 混んでいるのに長々話し込んでしまいすみませんでした。保育園の園長に、かわむら先生に言われた通り、びしつと行って来ました。仙台市じゃなく、園長のしょうごう熱時代の間違った認識でした。いつの時代よ!?でしたし、今は違います。20年来の私の信頼しているかわむら先生が言うんだから、間違いありません!とキツパリ言い切りました。新しい情報が入って来ないのでありがとうございますと。ついでに、嘔吐下痢症の時に下痢止めを出す先生がいる菌を出さなきゃいけないのに、下痢を止めるなんてと園長...。はあ～...あのですね、小さい子が下痢が続いたり吐き続けたら、脱水になりますよね？そちらの方が点滴したりしなきゃなくて、大変じゃないですか？から始まり、私の知識と言うより、かわむら先生から学んだことを淡々と自信を持って話してきちゃいました。今日、先生のところに行つて良かったです悶々としていましたが、先生の後押しが心強く、園長に言えました。これからも、宜しくお願いします。そのうち孫もお世話になる日が来るかな～。ありがとうございます」。保育所中には間違った知識や誤解を保護者に押し付けるところもあります。預けている立場としては、強く言うのは難しいかもしれません。そんな時役立つのが、小児科医の後押しです。必要な時には、いつでもご利用ください(笑)



さて次は、秋田に転居した浅野さんから「ご無沙汰しております、先生、スタッフの皆様、お元気でいらっしゃいますか？浅野花みち、花怜母です。花みち、花怜、先日の「はびふるみやぎ」記事を見せたら「かわむら先生だ!」と、すごく喜んでいました。私もいただくクリニックニュースやFacebookなどとても楽しみにしています。今年中にはいいね!をしてみたいです、Facebook勉強中です(#^_^#)さて、今回ご相談がありメールさせていただきまます。」で始まる相談メールです。これまた溶連菌に関するものでしたが紙面の都合で省略します。院長の返信に対して、その後2通のメールをもらいました。うち1通を紹介します。「おはようございます、浅野花みち・花怜母です。先生、先日は相談にのっていただきありがとうございます。おかげさまで、私はゆったりとした気持ちで、花怜も元気に検査までの日をすごせました。溶連菌の尿検査、昨日おわりました。結果は尿タンパク(+/-セロ)とのこと。この程度なら問題ないですよ、と小児科の先生からの話でした。検査は一度だけだそうです。クリニックでは2回でしたので、多少不寝?も残りますが、これも施設によって違いがあるのでしょうか。まずは大丈夫とのこと、ほつとし、先生にお礼方々ご報告のメールさせていただきまました。仙台は七夕ですね。子供達も夏休みに入り、元気に、楽しい休みにしたいです(#^_^#)。転勤族は、頼れるところない場所での生活、遠方ながら先生に相談にのっていただけ、すごく助かっています。本当にありがとうございます。これからも暑い日が続きますが、先生、スタッフの皆様どうぞお元気でお過ごしください。)。丁寧な返事とスタッフへの気遣い、ありがとうございます。いつもの通り、転居してもかかりつけはいつまでもかかりつけです。

さて次は、秋田に転居した浅野さんから「ご無沙汰しております、先生、スタッフの皆様、お元気でいらっしゃいますか？浅野花みち、花怜母です。花みち、花怜、先日の「はびふるみやぎ」記事を見せたら「かわむら先生だ!」と、すごく喜んでいました。私もいただくクリニックニュースやFacebookなどとても楽しみにしています。今年中にはいいね!をしてみたいです、Facebook勉強中です(#^_^#)さて、今回ご相談がありメールさせていただきまます。」で始まる相談メールです。これまた溶連菌に関するものでしたが紙面の都合で省略します。院長の返信に対して、その後2通のメールをもらいました。うち1通を紹介します。「おはようございます、浅野花みち・花怜母です。先生、先日は相談にのっていただきありがとうございます。おかげさまで、私はゆったりとした気持ちで、花怜も元気に検査までの日をすごせました。溶連菌の尿検査、昨日おわりました。結果は尿タンパク(+/-セロ)とのこと。この程度なら問題ないですよ、と小児科の先生からの話でした。検査は一度だけだそうです。クリニックでは2回でしたので、多少不寝?も残りますが、これも施設によって違いがあるのでしょうか。まずは大丈夫とのこと、ほつとし、先生にお礼方々ご報告のメールさせていただきまました。仙台は七夕ですね。子供達も夏休みに入り、元気に、楽しい休みにしたいです(#^_^#)。転勤族は、頼れるところない場所での生活、遠方ながら先生に相談にのっていただけ、すごく助かっています。本当にありがとうございます。これからも暑い日が続きますが、先生、スタッフの皆様どうぞお元気でお過ごしください。)。丁寧な返事とスタッフへの気遣い、ありがとうございます。いつもの通り、転居してもかかりつけはいつまでもかかりつけです。

7月の感染症の集計



全国的に増えているのに合わせて、手足口病は急増です。東北放送の取材でも話しましたが、お尻にもかなりです。時々「手足口ケツ病」と説明しています(笑)夏カゼとして知られるヘルパンギーナが出てきました。グラフに示していませんが、感染性胃腸炎が相変わらず多く、夏はエンテロウイルスによる胃腸炎が多い季節です。

Mail News, Facebook の紹介

Mail News は、500人を越えるお母さんが登録。下のQRコードから登録できます。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。

その他の情報発信としてFacebook ページ、YouTubeにも取り組んでいます。最新情報はFBを見てください。Mail Newsが、かなり戻ってきます。届かない場合はkodomoclinic.or.jpをドメイン指定して下さい。不明な点は受付まで問い合わせ下さい。



MailNews



Facebook

編集後記

発行が遅れた上に、ちょっと文字が少なく微妙に手抜き感となってしまいました。学会会長というのはほとんど座ってればいいものと思っていましたが、結局は雑用係です。診療と同じように、完ぺきを目指す悪い癖が災いをしているし、新聞欠号してもいいぐらいの余裕を持ちたいものです。しかし読者の広場にあるような、皆さんの一生懸命な思いが支えてくれています。



麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』
『お母さんクラブ』現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。!!